

セメント試験成績表

2026年3月度





種類 品質	普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高炉セメントB種 JIS R 5211				
	JIS 規格値	試験成績			JIS 規格値	試験成績			JIS 規格値	試験成績			
		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)	
密度 g/cm ³	—	3.16	—	—	—	3.14	—	—	—	3.04	—	—	
比表面積 cm ² /g	2500以上	3250	75	—	3300以上	4550	87	—	3000以上	3990	85	—	
凝結	水量 %	—	28.3	—	—	29.9	—	—	—	30.2	—	—	
	始発 h-min	60min以上	2-20	—	(1-55)	45min以上	1-37	—	(1-15)	60min以上	2-59	—	(2-40)
	終結 h-min	10h以下	3-27	—	4-20	10h以下	2-34	—	3-30	10h以下	4-22	—	5-40
安定性	バット法	良	良	—	—	良	良	—	—	良	良	—	—
圧縮強さ N/mm ²	1 d	—	—	—	—	10.0以上	26.8	1.47	—	—	—	—	
	3 d	12.5以上	31.5	1.52	—	20.0以上	48.4	1.70	—	10.0以上	22.1	1.51	—
	7 d	22.5以上	47.5	1.73	—	32.5以上	59.9	1.87	—	17.5以上	34.7	1.70	—
	28 d	42.5以上	61.8	1.90	—	47.5以上	67.4	2.02	—	42.5以上	61.4	1.93	—
水和熱 J/g	7 d	—	337	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	28 d	—	382	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
化学成分 %	酸化マグネシウム	5.0以下	1.14	—	1.63	5.0以下	1.04	—	1.56	6.0以下	3.38	—	3.77
	三酸化硫黄	3.5以下	2.37	—	2.53	3.5以下	2.87	—	3.39	4.0以下	2.02	—	2.26
	強熱減量	5.0以下	2.52	—	2.86	5.0以下	1.00	—	1.42	5.0以下	1.57	—	2.10
	全アルカリ	0.75以下	0.47	—	0.57	0.75以下	0.44	—	0.55	—	—	—	—
	塩化物イオン	0.035以下	0.019	—	0.028	0.02以下	0.007	—	0.015	—	0.013	—	—

- 備考
- ポルトランドセメント（全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大の値）
 - ・普通ポルトランドセメント…………… 0.63%
 - ・早強ポルトランドセメント…………… 0.63%
 - 高炉セメントB種
 - ・ベースセメントの全アルカリ…………… 0.47%
 - ・高炉スラグの分量…………… 40～45%
1. 試験方法は JIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203、JIS R 5204 による。
 2. 28d圧縮強さおよび28d水和熱は前月度の値を示す。



3/2
合

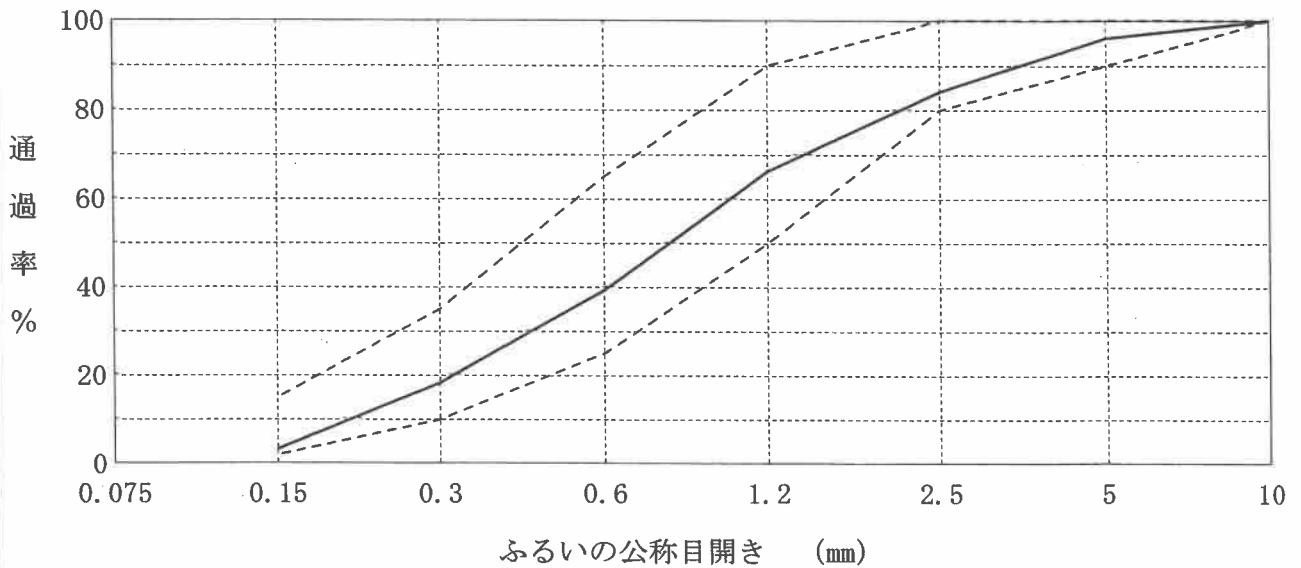
◎ お問い合わせその他のご連絡先
 〒730-0031 広島市中区紙屋町2-1-22
 広島興銀ビル8F
 UBE三菱セメント株式会社
 中国支店
 TEL 082-247-9613

試験規格	骨材のふるい分け試験表	検印欄	
JIS A 1102		主任	試験係
			

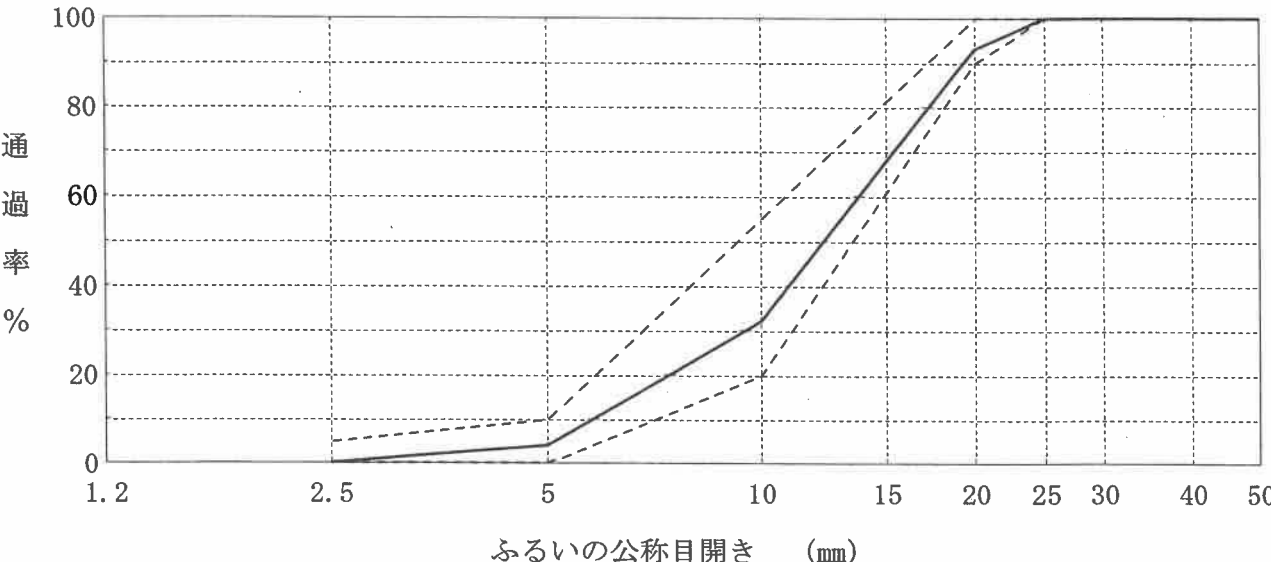
試験月日	令和 8年 3月 3日
産地品名	津山市加茂町知和
採取月日	令和 8年 3月 2日
採取場所	ダンプトラック上

ふるい分け前の試料の質量				509.9 (g)		ふるい分け方法		手動			
ふるいの 公称目開き (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる 試料の質量及び質量分率				各ふるいにとどまる試料の 質量及び質量分率		各ふるいを通過する 質量分率	連続するふるい の間にとどまる ものの質量分率	範囲 上限下限 (%)	参考 $\frac{A\sqrt{d}}{300}$	
	縮分① (g)	縮分② (g)	縮分 mr(g)	計 (%)	(g)	(%)	(%)	(%)			
10	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	100	0	100 - 100	---	
5	17.9	0.0	17.9	4	17.9	4	96	4	100 - 90	228	
2.5	58.6	0.0	58.6	12	76.5	16	84	12	100 - 80	161	
1.2	91.6	0.0	91.6	18	168.1	34	66	18	90 - 50	114	
0.6	71.8	65.1	136.9	27	305.0	61	39	27	65 - 25	81.1	
0.3	54.3	55.1	109.4	21	414.4	82	18	21	35 - 10	57.4	
0.15	38.9	38.1	77.0	15	491.4	97	3	15	15 - 2	40.6	
受皿	8.8	8.9	17.7	3	509.1	100	0				
合計			509.1	100							
粗粒率		2.94		規格値		2.90±0.15		判定		◎	
連続するふるいの間にとどまるものの質量分率				規格値 (%)		45未満		判定		◎	
ふるい分け前後の試料質量差				0.2		規格値 (%)		1.0未満		判定	◎

粒度曲線



備考：

試験規格		骨材のふるい分け試験表				検印欄	
JIS A 1102						主任	試験係
		試験月日	令和 8年 3月 3日				
試料		産地品名	津山市加茂町知和				
		採取月日	令和 8年 3月 2日				
		採取場所	ダンプトラック上				
ふるい分け前の試料の質量		5045.9 (g)			ふるい分け方法	手動	
ふるいの公称目開き (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量及び質量分率		各ふるいにとどまる試料の質量及び質量分率		各ふるいを通す質量分率 (%)	範囲	
	(g)	(%)	(g)	(%)		上限	下限
50	0.0	0	0.0	0	100	100	100
40	0.0	0	0.0	0	100	100	100
30	0.0	0	0.0	0	100	100	100
25	0.0	0	0.0	0	100	100	100
20	364.5	7	364.5	7	93	100	90
15						-	-
10	3103.3	61	3467.8	68	32	55	20
5	1389.8	28	4857.6	96	4	10	0
2.5	187.5	4	5045.1	100	0	5	0
受皿	0.0	0	5045.1	100	0		
合計			5045.1	100			
粗粒率		6.71	規格値	6.85±0.20		判定	⊕
ふるい分け前後の試料質量差		0.0	規格値 (%)	1.0未満		判定	⊕
粒度曲線							
							
備考：							



試験報告書

ふじもと組 殿

岡山県津山市加茂町知和467-5

試験品内容： [種 別] JIS A 5308:2024 附属書JA「レディミクストコンクリート用骨材」
JIS A 5005:2020「コンクリート用砕石及び砕砂」
粗骨材 コンクリート用砕石 2005 A (岩質：安山岩)
[大 き さ] 20～5mm
[採 取 日] 2025年4月9日
[産 地] 岡山県津山市加茂町知和
[採 取 場 所] ストックヤード
[製 造 業 者] (株)ふじもと組

試験項目： 1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法) ✓

受領日(試料持込日)： 2025年 4月 10日

試験日： 2025年 4月 10日 ～ 2025年 10月 17日

試験結果： 次頁以降のとおり

特記事項： ー

試験実施場所：一般財団法人 日本品質保証機構 関西マテリアルテクノ試験所 試験室

- (注) 1. 上記試験品は、試験申込者により試験実施場所へ持ち込まれたものである。
2. 試験品内容等については、試験申込者提出の試験申込書に基づき表記したものである。
3. 試験結果は当該試験品に対する結果であり、製品すべてを保証するものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2025年 11月 28日

大阪府東大阪市水走3丁目8番19号
一般財団法人 日本品質保証機構
関西マテリアルテクノ試験所

所 長 井上 瑠

技術管理者 那良 時義

この試験報告書の転載、一部分の複製をするときは、事前に当機構の承認を受けてください。
尚、報告書には改ざん防止策を施しています。

一般財団法人 日本品質保証機構



1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法)

(1)試験方法 JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。

- ・粒度調整した代表試料の粒度分布 : 粒度区分A
- ・湿度95%以上を確保した手段 : 吸取紙による被覆及び容器底面の水張り

(2)使用したセメント

- ・種別 : 普通ポルトランドセメント
- ・販売会社名 : 一般社団法人 セメント協会
- ・酸化ナトリウム(Na_2O) 0.27 %
- ・酸化カリウム(K_2O) 0.38 %
- ・全アルカリ量(R_2O) 0.52 %
- ・水酸化ナトリウム水溶液を加えた後のセメントの全アルカリ量 : 1.2 %

(3)判定基準

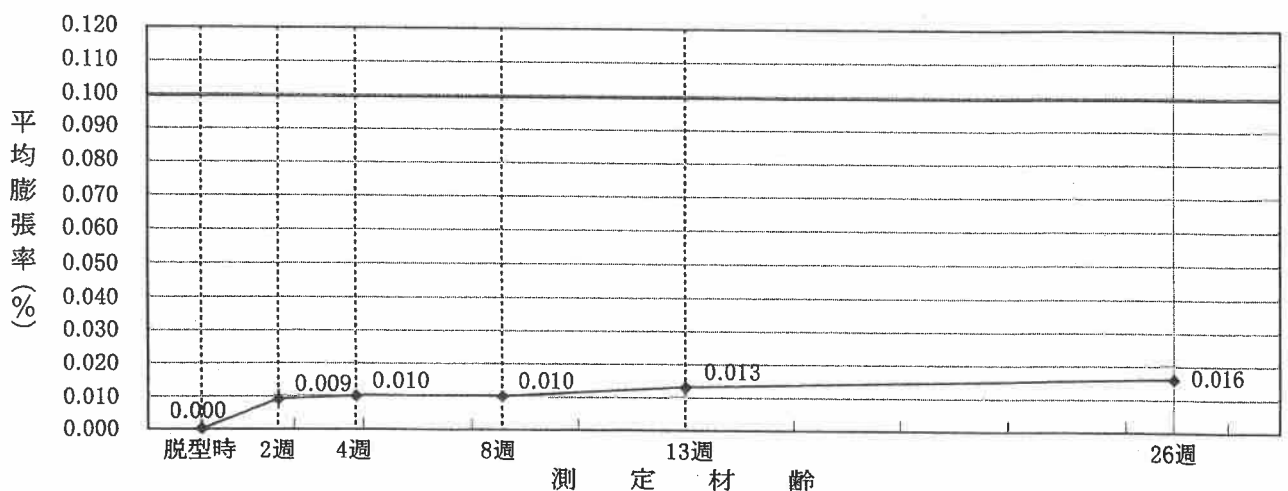
骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、供試体3本の平均膨張率が、測定材齢26週で0.100%未満の場合は、「無害」とし、0.100%以上の場合は「無害でない」とする。

[備考]

なお、測定材齢13週で0.050%以上の膨張を示した場合は、その時点で、「無害でない」としてもよい。測定材齢13週で0.050%未満のものは、その時点で、「無害」と判定してはならず、測定材齢26週まで試験を続けた後に判定しなければならない。

(4)試験結果

膨張率 (%)	測定材齢	脱型時	2週	4週	8週	13週	26週	判定
	試験No.							
1	—	0.009	0.011	0.011	0.014	0.016	無害 ✓	
2	—	0.009	0.010	0.010	0.013	0.016		
3	—	0.009	0.009	0.010	0.013	0.016		
平均	0.000	0.009	0.010	0.010	0.013	0.016		
外観観察	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし		



以上



試験番号 A-25-5-0030 1/2
受付日 令和 7 年 6 月 9 日
発行日 令和 7 年 12 月 12 日

骨材のアルカリシリカ反応性試験結果報告書

【モルタルバー法】

JNLA登録試験事業者
ベルテクス株式会社 試験分析センター
福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地
TEL:0778-62-1000 FAX:0778-62-7723
発行責任者 センター長 小林 宏成

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

依頼者	会社名	株式会社 きたむら															
	所在地	鳥取県鳥取市国府町岡益64-4															
試験日		令和 7 年 6 月 12 日			～ 令和 7 年 12 月 11 日												
試料	種類 (岩種)	鋳物砂(5) 砕砂(95)		産地	岡山県津山市加茂町												
	採取日	令和 7 年 6 月 5 日		搬入日	令和 7 年 6 月 9 日												
	採取場所	株式会社 きたむら		採取者	北邑 義一												
試験方法		<p>JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。 ※ 試験に用いたセメント</p> <table border="0"> <tr><td>種別</td><td>: 普通ポルトランドセメント</td></tr> <tr><td>製造会社名</td><td>: 社団法人 セメント協会</td></tr> <tr><td>酸化ナトリウム(Na₂O)</td><td>: 0.27 %</td></tr> <tr><td>酸化カリウム(K₂O)</td><td>: 0.38 %</td></tr> <tr><td>全アルカリ量</td><td>: 0.52 %</td></tr> </table> <p>※ 水酸化ナトリウム水溶液を加えた後のセメントの全アルカリ量 : 1.2 %</p>						種別	: 普通ポルトランドセメント	製造会社名	: 社団法人 セメント協会	酸化ナトリウム(Na ₂ O)	: 0.27 %	酸化カリウム(K ₂ O)	: 0.38 %	全アルカリ量	: 0.52 %
種別	: 普通ポルトランドセメント																
製造会社名	: 社団法人 セメント協会																
酸化ナトリウム(Na ₂ O)	: 0.27 %																
酸化カリウム(K ₂ O)	: 0.38 %																
全アルカリ量	: 0.52 %																
試験実施場所		ベルテクス株式会社 試験分析センター 福井県鯖江市二丁掛町7号6番地															
試験結果		モルタルバー法による試験体の膨張率 単位:%															
		供試体番号	脱型時	2週	4週	8週	13週	26週									
		1	—	0.008	0.014	0.019	0.022	0.023									
		2	—	0.008	0.014	0.019	0.023	0.024									
		3	—	0.007	0.013	0.018	0.022	0.023									
		平均値	0.000	0.008	0.014	0.019	0.022	0.023									
		外観観察結果	—	良	良	良	良	良									
判定基準		① 3本の平均膨張率が、26週後に0.100%未満の場合 : 無害 ② 3本の平均膨張率が、26週後に0.100%以上の場合 : 無害でない ※備考 材齢13週後に0.050%以上の膨張を示した場合は、その時点で“無害でない”としてもよい。その場合、26週の測定を省略できる。材齢13週で0.050%未満の場合は26週まで試験を続けた後に判定しなければならない。															
判定		無 害 ✓															
備考		「JIS A 5005 5.6 アルカリシリカ反応性」に基づき、本試験結果は、同一原石により製造された砕石および砕砂に用いることが出来る。 ※モルタルバー法による膨張率を裏面に示す。															

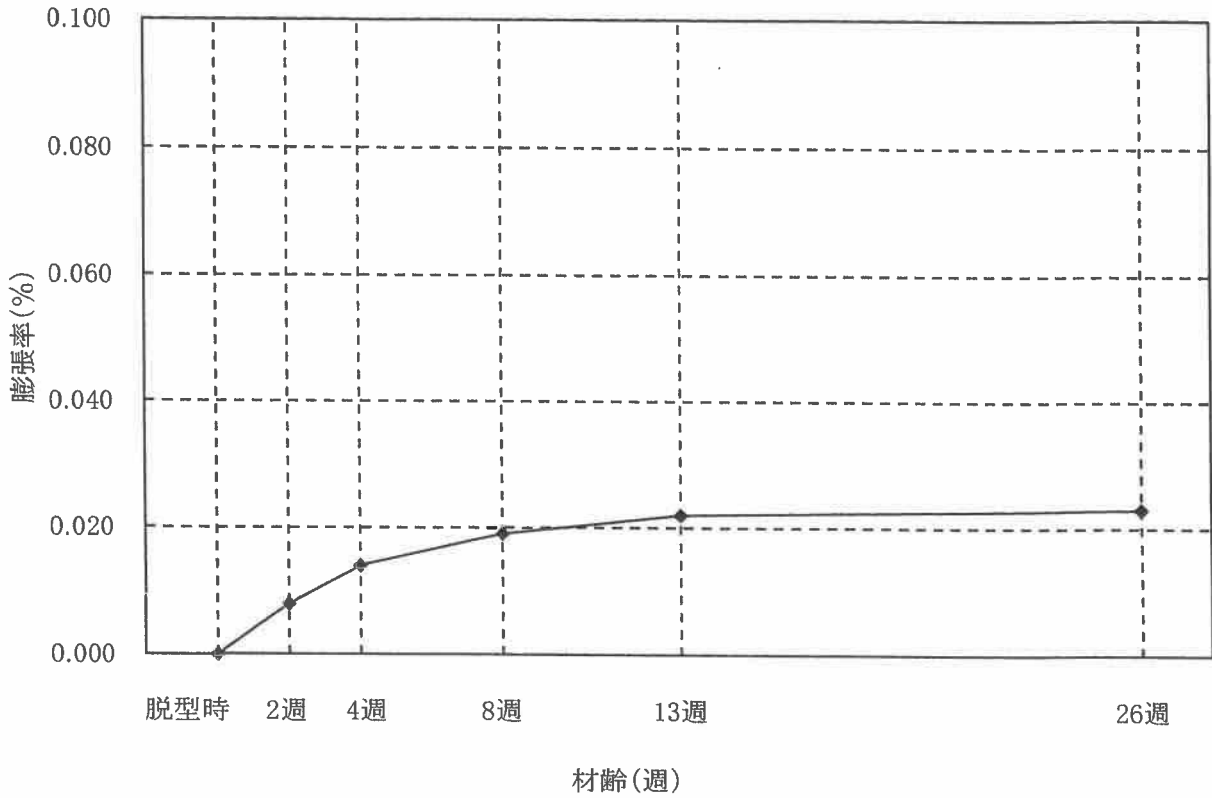
技術管理者	榎田 直也
試験担当者	江指 尚美

<本書の取扱いについて>

- ・本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
- ・本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
- ・本書の内容を転載する場合は、文書により事前に本所の承認を得るようにして下さい。



参考資料



アルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)による膨張率



(株)きたむら

御中

2026年 1月度～2026年 6月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

種類 高性能減水剤 (I種)

商品名 シーカ ビスコクリート ACE 390 (100%)



1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュ コンクリート	減水率 %	12 以上	15 ✓	15	
	ブリーディング量の比 %	— 以下	—	—	
	ブリーディング量の差 cm^3/cm^3	— 以下	—	—	
	凝結時間の差分	始発	+90 以下	-30 ✓	-10
		終結	+90 以下	-35 ✓	-10
	経時変化量	スランプ cm	— 以下	—	—
空気量 %		— 以内	—	—	
硬化 コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—	
		材齢2日 (5°C)	— 以上	—	
		材齢7日	115 以上	133 ✓	149
		材齢28日	110 以上	119 ✓	135
	長さ変化比 %	110 以下	94 ✓	—	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		— 以上	—	—	

注記 1. 1m^3 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 7.00 kg/m^3 性能確認試験 7.00 kg/m^3 注記 2. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年11月の試験結果である。ただし圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年 5月の試験結果である。注記 3. この表に表示している形式評価試験は、2024年 9月に ホゾリスソリューションズ(株)技術開発センターで実施した試験結果である。2. 塩化物イオン(Cl⁻)量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	1m^3 当たりの化学 混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン(Cl ⁻)量	0.02 kg/m ³ 以下	0.00 kg/m ³	0.00 %	7.00 kg/m ³	0.00 kg/m ³
全アルカリ量	0.30 kg/m ³ 以下	✓ 0.03 kg/m ³	0.4 %	7.00 kg/m ³	0.03 kg/m ³

注記 1. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年11月の試験結果である。注記 2. この表に表示している形式評価試験は、2024年 9月に ホゾリスソリューションズ(株)技術開発センターで実施した試験結果である。

3. その他の項目

項目	規格値	試験値
密度 (g/cm ³ , 20°C)	1.01 ~ 1.07	1.03 ✓

注記. この表に表示している試験値は、2025年11月の試験結果である。

アルカリ総量計算

令和8年3月度

(積みブロック)

株式会社きたむら

鳥取県鳥取市国府町岡益64-4番地

配合

単位量(kg/m ³)				
水	セメント	砕石	砕砂・鑄物砂	混和剤
175	325	1080	805	4.87

ポルトランドセメント全アルカリ6ヶ月間の最大値 0.63 %

骨材中のNaClの量 0.0 %

混和剤中の全アルカリ量 0.4 %

コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _c R _c = (単位セメント量kg/m ³) × (セメント中の全アルカリ量Na ₂ Oep : % / 100)	R _c = 2.048
コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _a R _a = (単位混和材量kg/m ³) × (混和材中の全アルカリ量 : % / 100)	R _a = 0.000
コンクリート中の骨材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _s R _s = (単位骨材量kg/m ³) × 0.53 × (骨材中のNaClの量 : % / 100)	R _s = 0.000
コンクリート中の混和剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _m R _m = (単位混和剤量kg/m ³) × (混和剤中の全アルカリ量 : % / 100)	R _m = 0.019
流動化剤を添加する場合は、コンクリート中の流動化剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _p R _p = (単位流動化剤量kg/m ³) × (流動化剤中の全アルカリ量 : % / 100)	R _p = 0.000
コンクリート中のアルカリ総量(kg/m ³): R _t R _t = R _c + R _a + R _s + R _m + R _p	R _t = 2.07

コンクリート中のアルカリ総量を規制する抑制対策 3.0kg/m³以下2.07 Kg/m³ < 3.0Kg/m³ 判定 適

以上